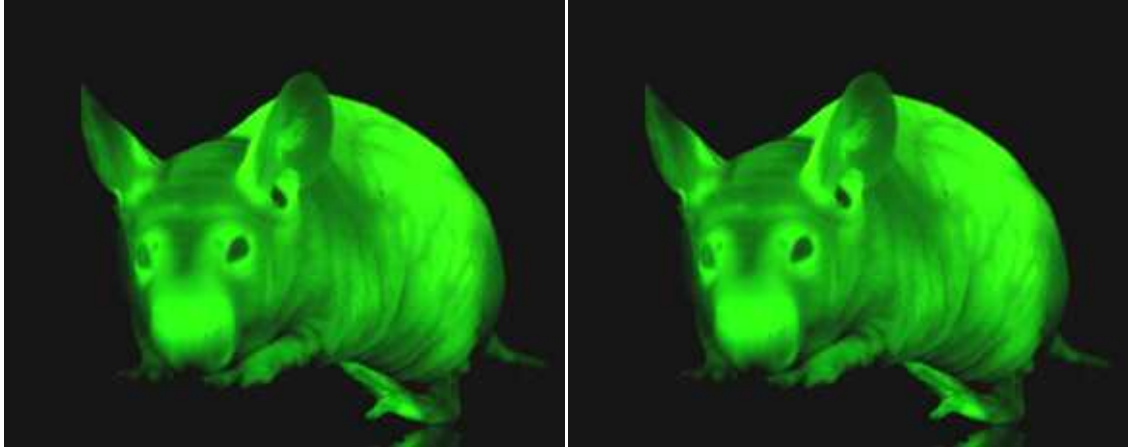


『マウス、脊髄損傷患者に希望を与える。』

ダニエル・ビートマン

2010年6月9日

ケアンズ・ポスト紙(オーストラリア)



アメリカと日本の研究者が、マウスの毛包と云う思いもよらない場所で損傷した脊椎を修復する有望な治療法を見出した。

治療後：毛包がマウスの傷ついた神経や脊椎を修復し、マウスを再び歩けるようにすることができた。

脊髄損傷患者の有望な治療法がマウスの体毛という思いがけない場所で見出された。昨日、ケアンズの世界毛髪学会で明らかにされた画期的な発見は、脊髄損傷で歩行困難な人々に希望の光を与えた。

アメリカと日本の研究者が、マウスの毛包が新しい幹細胞の供給源になることを見出した。

アメリカ、サンディエゴにあるアンチキャンサー社の研究室で偶然に見つかった毛包幹細胞は、マウスの神経や脊髄の損傷を修復し、マウスが再び歩けるようなることを明らかにした。

ヒトの毛包から得られる同じような幹細胞はマウスの場合と同じ効果を持っており、脊髄損傷のある人にも同じ治療ができる可能性がある。

科学者達は、癌を追跡しながらヒトの皮膚を研究している間にこの発見に出くわした。

アンチキャンサー社の社長であり、カリフォルニア大学医学部教授であるロバート・ホフマン博士は、「毛包幹細胞を切断した神経の場所に移植すると、神経は再結合し機能を取り戻すことが分った」と述べてた。

会議では、『脊髄が切断されたマウスが、毛包幹細胞で治療するとそこら辺りを走り回る』と云う驚くべきビデオが上映された。///